

担当学芸員の一押し!

北斎 広重

富嶽三十六景への挑戦

江戸東京博物館コレクションより

会期 7/26(金)~9/8(日)
8/19(月)は展示替えのため休展

会場 大分県立美術館 3階 コレクション展示室

北斎・広重の
名作の数々がやってくる!

本展では現在休館中の東京都江戸東京博物館のコレクションから、風景版画で双璧をなす葛飾北斎(1760~1849)と歌川広重(1797~1858)、二人それぞれの風景画への「挑戦」に焦点を当て、名作「富嶽三十六景」「東海道五拾三次之内」などの代表作を中心に紹介します。

葛飾北斎は長い画業のうちに春朗から宗理、北斎、戴斗、為一、画狂老人と名前を変え、摺物、読本、風景版画、肉筆浮世絵など幅広いジャンルで活躍しました。変えたのは名前だけでなく、なんと生涯に90回以上の引越をしたことでも知られています。歌川広重は、定火消(江戸幕府の職名のひとつで、消防の役割を果たした)の安藤家に生まれましたが、浮世絵師の歌川豊広に弟子入りし、20歳過ぎには作品制作を始めました。定火消との兼業で制作を続けますが30代半ばで遂に隠居し、その後に刊行した「東海道五拾三次之内」でブレイクを果たしました。

「富嶽三十六景」全点展示!
お見逃しなく!

葛飾北斎の名作「富嶽三十六景」を本展ではなんと全点展示します!(作品は期間を分けて展示されます)

「富嶽三十六景」は天保2(1831)年から4(1833)年頃にかけて発表された、36図に好評で追加となった10図の計46図からなるシリーズ。18世紀にヨーロッパから輸入された新しい青色の顔料、ベロ藍(ブルシアンプル)を大胆に用いた風景版画です。中でも新千円札の絵柄にも使用される「神奈川沖浪裏(写真1)は誰もが知る作品。躍動的で迫力のある大波の動的な表現に対して、その奥に堂々とそびえる富士山との静動の対比は、北斎の瞬を切り取る構図の妙が遺憾なく発揮された傑作と言えるでしょう。

また通称「赤富士」として知られる「凱風快晴(写真2)も北斎の代表作のひとつ。凱風とは初夏のそよ風のことで、夏の日の早朝、朝焼けで富士山が赤く染まった風景を描いています。深い青色の空と、対照的な赤色の富士山の鮮やかな風景が清々しい作品です。どちらもお見逃しなく!

広重の挑戦—新たな風景画

「富嶽三十六景」の刊行が終了した頃、今度は歌川広重の「東海道五拾三次之内」シリーズの刊行が始まりました。江戸と京都を結んだ東海道の53の宿場の風景、そして江戸の日本橋と京都の三条大橋の風景を加えた55図のシリーズです。今回は選り



写真1:葛飾北斎<富嶽三十六景 神奈川沖浪裏>天保2年~4年(1831~33)頃
展示期間 7/26(金)~8/12(月・振休)



写真3:歌川広重<東海道五拾三次之内 庄野 白雨>天保5~7年(1834~36)頃
展示期間 8/20(火)~9/8(日)

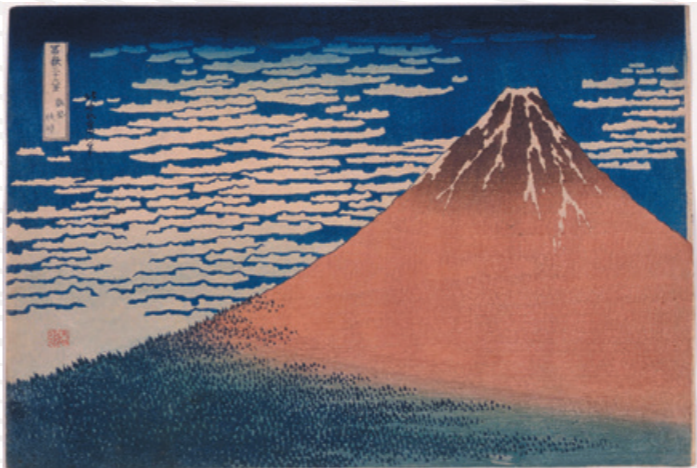


写真2:葛飾北斎<富嶽三十六景 凱風快晴>天保2年~4年(1831~33)頃
展示期間 8/13(火)~9/2(月)



写真4:歌川広重<東海道五拾三次之内 原朝之富士>天保5~7年(1834~36)頃
展示期間 8/20(火)~9/8(日)

見どころ紹介!

大分県立美術館学芸員 柴崎香那

日本を代表する浮世絵の名作、葛飾北斎の「富嶽三十六景」は、青を使った鮮やかな色彩と大胆な構図で人々に強い衝撃を与えました。この時、北斎は70歳を越えていましたが、長い画業の中で不断の努力を重ねていました。一方の歌川広重はこの時30歳代後半。風景画を描くもヒット作のない一介の浮世絵師にすぎませんでした。北斎の大ヒットの陰で、広重はどのように自らの画風を打ち立てていったのでしょうか。これまでも北斎と広重の富士シリーズを展示する展覧会は開催されてきましたが、本展はより踏み込んだ解釈により、風景画で双璧をなす北斎と広重の挑戦をストーリー展開で浮き彫りにする試みです。江戸東京博物館の貴重なコレクションを通して、二人の浮世絵師のあくなき挑戦の数々を名品とともに紹介します。

- 見どころ1 「富嶽三十六景」全点展示!
(作品は期間を分けて展示されます)
- 見どころ2 北斎への挑戦状!?
広重の旅情豊かな「新・風景画」
- 見どころ3 大分会場独自の展示コーナーで
歌川豊春などもご紹介!

北斎と広重 富嶽三十六景への挑戦 江戸東京博物館コレクションより

開催時間: 10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで) 観覧料: 一般1,400(1,200)円、大学・高校生1,000(800)円 ※中学生以下無料 ※()内は前売りおよび有料入場20名以上の団体料金 ※大分県芸術文化友の会びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者1名は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください。お問合せ: 大分県立美術館 Tel.097-533-4500